

## (2) どこまでなら許せる？

対象校種：中学校、高等学校

テーマ：個人の権利（人格権、肖像権など）

### 1 本時の目標

人によって感じ方や考え方が異なることを理解する。

### 2 学習指導のポイント

- ペア学習やグループ学習を通じて、自分と他人は考え方や感じ方が異なることを理解させる。
- 個人の権利（人格権、肖像権など）を尊重し、インターネット上に情報を発信する際の責任について理解させる。

### 3 授業実施前の準備や留意点

多くの生徒が所有していると考えられるスマートフォンやタブレット端末を使った画像の扱い方を取り上げています。そこで、生徒の実態や発達の段階をアンケート調査しておきます。実態を正確に把握することで、適切な指導を行います。

### 4 情報モラル指導モデルカリキュラム表への対応

中学校 b4-1：個人の権利（人格権、肖像権など）を尊重する

高等学校 b5-1：個人の権利（人格権、肖像権など）を理解し、尊重する

### 5 本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価 (評価の観点)
<b>導入【5分】</b> ○事前に実施したアンケートから、情報端末の利用状況とSNSの活用状況について知る。	○自分の学級と府内全体のアンケート結果から、自分の学級の特徴について、考えさせる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">めあて（感じ方や考え方はみんな違うことを知ろう）</div>		
<b>展開【40分】</b> ○スライド資料を見て、ア～ウの場合について、①～④のそれぞれの行為について、自分なら許せるか否かを考え、ワークシートの1回目の欄に記入する。（個別） ア（携帯電話の画面等で）見せるだけ イ グループのSNSに公開 ウ インターネット上に公開  ① 顔が写っていない写真 ② 顔が写っている写真 ③ わざと変な顔をして写っている写真 ④ カラオケで歌っている動画	<b>&lt;スライド（2）-1～3&gt;</b> ○どれについても自分の知らないところで起きている行為であることを伝えて、考えさせる。 ※グループとは、決められたメンバー内のみでの公開のこと。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">十分満足できると判断される状況</div> ○撮影された画像の正しい扱い方について、それぞれの立場に立って考えることができる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">発問①「あなたなら、どこまで許せますか？」</div>		
○ワークシートをペアで見せ合い、相手の回答について、どう感じるか考える。 ・相手がなぜ嫌なのかわからない。	○ペアの児童生徒と全く同じ回答をしていることはほとんどないことを確認して、お互いの価値観の違い	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ項目でもどう見せるかで考えが変わる。</li> <li>○情報化社会の新たな問題を考えるための教材 6 「写真や動画が流出する怖さを知ろう」 導入動画を視聴する。(全体)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いについて考えさせる。</li> <li>○登場人物が多いため、写真を黒板に貼るなど、生徒が話の展開をつかめるように工夫する。</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">         発問②「友達の下着姿の写真をSNSに送ることはなぜダメなのだろうか？」       </div>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人が嫌だと思ふ写真を撮影してはいけない</li> <li>・本人の許可を取っていない</li> </ul> <p>○再度、ア～ウの場合について、①～④のそれぞれの行為について、自分なら許せるか否かを考え、ワークシートの2回目の欄に記入する。</p> <p>○グループで、それぞれの回答について議論する。</p>	<p>&lt;スライド(2)-5～10&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童ポルノ禁止法違反という犯罪であることを指導する。</li> <li>○インターネットの公開性、記録性について指導する。※</li> <li>○トラブルや犯罪に巻き込まれないためにどうしたらよいか考えさせる。</li> </ul> <p>&lt;スライド(2)-11～13&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解させる。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">         努力を要する状況への手立て       </div> <p>○他人の意見を聞くことにより、それぞれの立場によって、考え方や感じ方が異なることを理解させる。</p>
<p>まとめ〔5分〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○考え方や感じ方は人によって異なることを理解する。</li> <li>○感想を記入し、自分がこれから気を付けることをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○気持ちの変化と授業の感想をまとめる。</li> </ul>	

平成28年度に木津川市立木津第二中学校で実践された授業を元に作成しました。

## 6 参考資料

情報化社会の新たな問題を考えるための教材

教材6 写真や動画が流出する怖さを知ろう

(文部科学省委託 情報モラル教育推進事業)

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/1368445.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/1368445.htm)

このCD-Rに掲載している動画又は平成28年5月に各学校に配付されたDVDの動画を御利用ください。

### ※インターネットの特性

情報化社会の新たな問題を考えるための教材

～安全なインターネットの使い方を考える～ 指導の手引きより

「公開性」について、インターネット上での書き込みは、基本的には広く公開、あるいは公開される可能性があり、世界中の誰からでも見られる可能性があるのだという感覚を持たせることが大切である。友達同士だけのやり取りだと思って公開のサービスに不適切な写真や情報を掲載して起こるトラブルや、閉じられたサービスだと思って発信した情報が公開のサービスに転送されるというトラブルが頻発している。

したがって、インターネット上での書き込みは、どんなサービスであっても公開される可能性があるのだという感覚を持たせると同時に、著作権・肖像権を守って発信しなければならないという意識も持たせなければならない。

「記録性」について、一度発信した情報は、取り戻せないことが多く、必ずどこかに記録が残ってしまうことを理解させることが必要である。名前を書かない場合も誰が発信したかという記録が必ず残ってしまう仕組みもある。

インターネット上の過去の書き込みを調べることは容易なので、進学や就職等自分の将来を決める重要な場面で、人物評価のために自分の過去の書き込みまで遡って調べられる可能性があることを理解させる必要がある。